夢 ～努力は未来を拓く～

弥富北中学校２年生
学年通信　第１６号
２０１７．１１．１６

広島研修を終えて

研修テーマ　8.6→平和への道～千羽の想いを届けよう～

［Z．R.］
　原爆の恐ろしさ、今も苦しめられている人たちがいるということ、そして、人だけでなく植物や物も被爆したんだということを学びました。放射線や熱線により今でも後遺症に苦しめられている人や、当時のことを思い出すと眠れない人がいるという現実に胸が締めつけられました。被爆ピアノの物語を聴いたとき、人間の想像ではあるけれど、本当にあのピアノが思っていることのような気がしました。8.6→平和への道～千羽の想いを届けよう～の研修テーマにそって、平和への想いを届けることができました。

【K．T.】
　この２日間の広島研修で、いろいろな所へ行き、平和への考えを深めていく中で、自分にとっての平和への考え方が少しずつ変わっていったと思います。今までは、平和とはただ「戦争がない世界」だと思っていましたが、今も原爆で苦しむ人がいるんだということを考えなくてはならないと思いました。１９４５年８月６日のことを忘れかけている人が多くいると思います。これからの世界を創っていくのは自分たちなので、８月６日を忘れずに、平和への想いをさらに強くもっていきたいです。

【S．R.】
　２日間の研修をさせていただき感じたことは、「今はまだ平和ではない。」ということです。被爆体験講話などを聞いて、世界には現在もまだ核があり、それをなくさない限りは平和にはならないということを知りました。核を一秒でも早くなくし、誰もがこの世界は平和だと言えるように、今自分ができることは何なのかを考えながら生活していきたいです。

【S．K.】
　被爆体験の講話を聴いて、原子爆弾の恐ろしさを学ぶことができました。また、生きるためには他人の物をうばったりしたという戦時中の体験談が心に残りました。そして平和記念公園の原爆ドームを間近で見て、原爆の威力を肌で感じました。資料館では核のしくみや、その被害にあった実物が展示されていました。この２日間の研修で自分たちが学んだことを、いろいろな人につなげていくことが大切だと感じました。そして、感謝の気持ちをもって生きていきたいと思いました。

【S．K.】
　僕がこの広島研修で学んだことは、戦争を二度と起こしてはいけないということです。被爆者２世の山岡さんの話を聞いて、自分が考えていたより恐ろしいことが起きていたという事を知りました。被爆ピアノの演奏では、矢川さんがピアノにたくした平和への願いを感じることができました。

【F．A.】
　「わたしにとっての平和とは何か。」それを考えてくるという目標をもって、広島へ向かいました。いろいろな体験の中で、一番印象に残っているのは、被爆ピアノ演奏です。原爆の威力に耐えたあのピアノの音色には、被爆した人々の叫び、平和への願いがのせられているように感じました。たくさんの曲の中でも、「死んだ男の残したものは」という曲が心に響きました。「他には何も残さなかった」から「何も残せなかった」と歌詞が変わったところが印象的で、今でもあの歌声を思い出します。原爆というとわたしたちは人の被害だけに目がいきがちですが、８月６日に広島にいた人々だけでなく、あったもの全てが傷を負っているということを忘れてはいけないと思いました。「わたしにとっての平和とは何か。」その答えはまだはっきりとはしませんでしたが、過去を振り返ることが平和への第１歩になるのだと思いました。